2026 年 10 月 14 日

PRESS RELEASE

TOKAI RIKA

東海理化、「バス乗員安全システム」β版の販売を拡大
～国際興業へ 26 年度中に 10 台納品～

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之夕 裕美）は、路線バス事業を手掛ける国際興業株式会社(本社: 東京都中央区 代表取締役社長: 黒滝 寛、以下「国際興業」)へ 26 年度中に 10 台を販売することが決定しました。これは、25 年度に川崎鶴見臨港バスへ納品した実績に続く受注となります。※

東海理化はこれまで、バス事業者等との共同検証や展示会への出展などを通じて、公共交通の安全性向上に取り組んでまいりました。今回の国際興業への販売も、さまざまな運用環境における評価や検証の一環であり、さらなるシステムの性能向上や機能改善につなげていくことを目的としています。今後も東海理化は、本システムの活用を通じてバス車内における乗客の転倒事故ゼロを目指すとともに、販売の拡大を進めてまいります。

※参考リリース：東海理化、「バス乗員安全システム」のβ版を販売開始 ～川崎鶴見臨港バスへ 25 年度中に 11 台納品～

＜バス乗員安全システムの特長＞

・車内に複数設置したカメラの映像を AI で解析し、走行中に乗客が席を立つなど事故やけがにつながる不安全行動を検知
・乗降口の開閉状況や車速などの車両情報と組み合わせて、乗客の行動状況を総合的に解析
・危険な行動を検知した際には、運転士への通知や乗客への案内・注意喚起を行い、事故の未然防止を支援

【安全支援システム搭載車両】

▲国際興業(株)路線バス（イメージ）

▲骨格情報から AI が乗客の不安全行動を検知

〔個人情報に関する取り扱いについてはこちら〕
https://www.tokai-rika.co.jp/topics/20261014-2.html

参考：国際興業(株)ホームページ：https://www.kokusaikogyo.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】株式会社東海理化 総務部広報室（0587-95-5211）